東京都中央卸売市場 廃棄物処理及びリサイクルの現状と課題

リサイクル実施分を除く一般廃棄物 18, 246 t → 焼却処分 事業系 一般廃棄物 24, 787 t 野菜くず 696 t → バイオマス発電・飼料 再 魚腸骨 資 5,845 t → 飼料等 源 化 23 年度発生量 業 37, 117 t 発泡廃棄物 者 2,990t→再生プラスチック等 持 込 木製パレット 分 4, 462 t → 合 板 等 産業廃棄物 PP バンド、ラップ等 12, 330 t 359 t → 再生プラスチック等 その他産業廃棄物 4,519 t → 産廃業者

〇一般廃棄物は24,787トンであり、このうち清掃工場で焼却処分されるごみは全体の約74%、18,246トンです。野菜くずは696トン、魚腸骨は5,845トンが再資源化されています。

〇産業廃棄物は 12,330トンであり、発泡廃棄物 2,990トン、木製パレット 4,462トン、場内で分別された PP バンドやラップ等 359トンが再資源化業者に持ち込まれています(その他、段ボールや缶等もほぼ全てが再資源化されています)。 これらを除く 4,519トンは産業廃棄物処理業者へ持ち込まれ、金属等が分別されて再資源化されたり、サーマルリサイクル(熱回収)されたりしています。

〇市場で発生した37,117トンのうち、場内で分別し再資源化業者に持ち込まれているものは、野菜くず、魚腸骨、木製パレット、発泡廃棄物、PPバンド等の14,352トン(全体の約39%)です。今後、ごみの発生量を抑制するとともに、リサイクルの一層の推進を図ることが課題となっています。